

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第134号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成23年8月6日（土） 05時07分ごろ	
発生場所	千葉県富津市浜金谷港沖 浜金谷港防波堤灯台から真方位318° 800m付近 (概位 北緯35° 10.6′ 東経139° 48.6′)	
事故等調査の経過	平成23年8月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 遊漁船 <sup>まごきち</sup>孫吉丸、4.64トン 232-7718千葉、個人所有</p> <p>B モーターボート タヒチⅡ、5トン未満（長さ3.29m） 232-6895千葉、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>B 船長B、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A なし</p> <p>B 船底に亀裂、船外機が濡損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長が1人で乗り組み、釣り客2人を乗せ、浜金谷港北方沖の漁場付近で魚群探索をしながら航行中、それまで船首方に停泊していた漁船がいつの間にかいなくなり、船首方に他船が見当たらなかったため、前路には他船がないものと思い、航行を続けた。</p> <p>B船は、船長Bが1人で乗船し、浜金谷港北方沖で錨泊して魚釣り中、船長Bが、ゆっくり接近するA船に気付いたがB船を避けてくれるだろうと思っていたところ、急に速度を上げて接近してきたので、危険を感じて海に飛び込んだ。</p> <p>両船は、平成23年8月6日05時07分ごろA船の船首部とB船の船首部とが衝突した。</p> <p>船長Aは、船尾に衝撃を感じ、振り返って船尾方を見たところ、転覆したB船が見えたので衝突したことに気付いた。</p> <p>船長Bは、近くにいた釣り船に救助され、B船は、水船状態となり、A船により金谷漁港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2～3、視界 良好</p> <p>海象：うねりの高さ 約1～1.5m、潮汐 上げ潮の初期</p>	
その他の事項	本事故の発生場所付近は、良い漁場となっていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B なし</p> <p>A なし、B なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、浜金谷港北方沖を航行中、船長Aが、前路に他船はいないものと思い込み、適切な見張りを行っていなかったことから、前路で錨泊中の</p>

		B船に気付かず、B船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、浜金谷港北方沖を航行中、船長Aが、適切な見張りを行っていなかったため、前路で錨泊中のB船に気付かず、B船と衝突したことにより発生したものと考えられる。	